

五、全国總聯合は現実当面の問題に關する労働者の階級の協同であることはならない、それ故に吾々は互いに主義主張の差異を論じず、階級の一致の行動を採ること、

六、單に労働組合だけでなく、農民組合とも協同せなければならぬこと、

七、労働新聞毎号に総聯合運動の情勢を掲載し、総聯合実現の大家の宣傳を行ふこと、

理由

現在我が国の労働組合を見るに、小党分立して仲々一致の行動に出ないことは甚だ遺憾である。分裂は我が国のみなならず世界各國共通の現象である。然しなから労働組合にとつては悲惨な此の現象を統一せんとすべし努力は漸次高まりつゝある。此の時に當りて、吾々の最も期待してゐた單一無産政党は結成さるゝに到つた。吾々の統一の運動の時期は来たのである。此に於て全無産階級は凡ゆる困難を排して全無産階級の完成を計るべきである。

産業別合同に關する建議案

本部提出

説明者

立花

波次

本大會は産業別合同に關して次の如き決議をなし、日本労働組合評議會中央常任委員會に建議するものである。

決議

一、日本労働組合評議會は産業別合同に關し、次の方法を採らるゝことを建議す

二、其の産業別完成

三、本部組織部は各地方に於ける合同組合に對する産業別整理の方針決定と運動の指導

四、産業別合同に關するパンフレット及びリーフレットの發行

五、労働新聞には毎月産業別合同運動の現勢並に其必要宣傳の掲載をなすこと、

六、各組合、支部、分會は互に造り合はせ、凡ゆる會合に於て産業別完成の必要と實現の具體的方法に關する討議を行はせむこと、

七、各友誼團體と協力して其實現を計ること、